

WEEKLY BULLETIN

会報 2016-2017

4月13日(木) 第36号
第2829回例会
第2510地区

●本日のロータリーソング 我等の生業

Rotary



バギオ基金について 札幌東ロータリークラブ

一般財団法人比国育英会バギオ基金
副会長 斉藤 実 氏 (東京臨海RC)

バギオ基金の歴史・生い立ち・背景からお話をしたいと思います。バギオは首都マニラから北へ約250 km、標高約1500mで、人口30万~35万人の学園都市であります。フィリピン第2の

都市で日本の避暑地である軽井沢の様なところ。1903年(明治36年)ロータリーが出来る2年前、日本人125名を乗せた東洋汽船の香港丸と言う一隻の客船がフィリピン・マニラ港に錨を降ろしたのが始まりです。バギオ山頂に続くベンゲット道路は、当時、支配していたアメリカのケン少佐が工事責任者でした。大変な難工事でなかなか進みませんでした。そこで、日本人がまじめで勤勉なのを知り労働者を募集したのです。50メートルに一人、人柱が出来るほどの難工事でしたが無事完成し、残った人達は現地の人と結婚したりしてフィリピンにしっかり根をおろし各地に豊かな邦人社会を形成しました。この道路はケン道路ともよばれていました。延べ2000人の日本人労働者が工事に関係し約700人が犠牲になったと言われています。

1941年(昭和16年)12月8日真珠湾攻撃(パールハーバー)により第二次世界大戦(太平洋戦争)が始まりました。ただこの数時間前にマレー半島コタバルに日本陸軍が上陸し、フィリピンにも同日空襲している、アジアから始まったアジア・太平洋戦争とも言えます。軍人・軍属合わせて60万人が注ぎ込まれ、そのうち10万人しか戻ってないので、50万人に近い人が戦死しています。山下大将率いる日本軍の軍司令部があった為、最大の激戦地となりました。敗戦後、この日系フィリピン人達は激しい報復と迫害を受け、バギオ山中に逃げ、日本人であることをひた隠してひっそりと生活をしていました。その生活の悲惨さは想像を絶するものでした。

そんな捨てられた民に救済の手を差し伸べたのが、カトリック修道院シスターテレジア海野でした。シスター海野は静岡市生まれ。還暦を機にフィリピンの貧しい人々のために余生を捧げるべく、1972年マニラのマリア宣教師フランシスコ修道会に赴任しました。たまたま休暇にバギオへ行く途中、ベンゲット道路開拓には日本人労働者が活躍したという事やその後の彼らの境遇を聞き、彼らの子孫は今どこでしているのだろうと心を痛めました。そして手当たり次第に日系人の消息をたずね歩き、一人二人とその存在を明らかにしていききました。「もう日系人だと隠さなくても大丈夫。これが

本日のプログラム

今、具現化する神話
—肝移植・再生医療への歩み—
旭川医科大学 名誉教授 水戸 迪郎 氏

らは皆で助け合っていきましょう」と言うシスター海野の言葉に、海苔巻を食べながら27年ぶりに日本語を話し、人々は声をあげて泣いたといひます。“なにか私にできることはないの?”と言うシスター海野の言葉に、彼らの答えはいつも子供の教育のことばかりでした。ほとんど定職をもたず食べていく事もままならない彼らにとって、学校の授業料は大変な負担でした。この恵まれない日系人の子供達に奨学金を提供し、この国の為には有意な人材を育てるお手伝いの協力をお願い出来ませんかと相談がありました。

当時、日本のロータリークラブの東京は258地区として1つの地区でした。その世界社会奉仕(WCS)の活動の一環としてバギオを取り上げました。現地のロータリークラブの協力も得て、準備期間3年をかけた1981年9月にバギオ基金が設立され活動を続けていきましたが、さらに2009年7月より一般財団法人比国育英会バギオ基金と改めスタートしました。2016年6月30日現在で寄付金の受け入れ合計額は約3億6千万円に達しました。これは日本全地区(34地区)の379 RC, 3,939名の後援者などから頂いています。継続は力と申します。ロータリー財団・ロータリー米山記念奨学会に次ぐ第三の育英事業としてここまでこつこつと草の根運動で少しずつ仲間を増やしてきました。対象奨学生も3,482名に及んでいます。2008年4月より留学生を受け入れることになり、今まで9名の留学生が短大及び大学を卒業し活躍しています。現在は沖縄で5名の留学生を受け入れており、勉強に励んでいます。

また、毎年2月の初めにバギオ訪問交流の旅を企画しています。百聞は一見に如かずと申します。一度参加してみても如何ですか。過去38回実施され、参加延人員1,203名になりました。ロータリーの友5月号と12月号の記事が掲載され、またバギオだよりを隔月に発行しています。一読していただけたら幸甚です。これからもバギオ基金にご支援・ご協力をよろしくお願いします。

マンスリー
メモ

【名前・マークの由来】

1905年シカゴで最初のクラブが誕生。例会場所を輪番(ローテーション)で提供しあったことから「ロータリー」の名がついた。輪番にちなみ6本スポークの歯車がエンブレムになっている。